

<福島県知事賞>

支え合う税金

浅川町立浅川中学校 三年 木谷 栄斗

みなさんは、税金で支えられていることについて考えたことはありますか？

私は、考えたことはありませんでした。支えられているのを知ったのは、最近です。

私は、野球部に所属しています。この夏、私たちの浅川中学校野球部は県南大会、県大会、そして東北大会を勝ち上がり、創部七十五年で初の全国大会出場をつかみとりました。町の放送でも伝えられました。その途端町は、活気にあふれました。

両親、祖母、親戚の方や近所の方、通っている歯医者先生など、本当に多くの人から「頑張っね」と声をかけてもらいました。本当に嬉しいことでした。今までも、目に見える形で多くの人に応援してもらった時には、本当に嬉しく感謝していましたが、今回の全国大会出場をきっかけに、私たちは目に見えない、意識しないところを改めて知るきっかけになりました。

それは、父が全国大会出場決定した後、しばらくした夕食の時に、

「今回の全国大会は北海道で大会に参加するだけでも金がかかる。お前たち選手の分は、町が負担してくれることになったんだよ。それは、町の人が一生懸命働いて納めている税金なんだから、お前たちは町の人に支えられて全国大会では直接応援してくれている人への感謝の気持ちは当然、そういう目には見えない形でもお前たちを支えてくれる人たちへの感謝の気持ちも忘れずに、最後の最後まで全力でプレーして戦って欲しい。」

と言われました。今までも学校の税金の勉強で私たちの学校、教科書や机にも税金が使われていることを聞いていましたが、いつもふざけた話をする父が真面目に話していたので、改めて私たちは様々な場面で税金に助けられていることを認識しました。税金というと、消費税が高くなったり、テレビでのニュースを聞いたりして、嫌なイメージの方が強かったりして、嫌なイメージの方が強かったのですが、今回のことを

きっかけに、自分が税金という形で多くの人に支えられることを知り、自分の考えを恥ずかしいと思いました。

私も大人になり働いて、税金を納めるようになった時には、嫌だという考えではなく、自分も税金に支えられていることを自覚して、自分が納めた税金の先で支えられている人の役に立つことを考えられる人になっていきたいと思いました。